・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

						主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
分類	No.	チェック項目	基本 チャレンジ		具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		V = V V VIII		29	(※事業者が記載する欄)	1 sees By Prit	2 *****	3 TATOLIC	4 ROBI-BRE	5 SELS-TRE	6 SEESECHE	7 tuttivoca	8 ####	9 ##2###### 9 ###20653	10 APROTES	11 gamenas	12 つくも RE	13 ANDERE	14 #081-55	15 #08### ###	16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 1	17
	1	【内部管理体制】	•		・経営理念、目標等を社内に掲示し、朝礼や社内研修により従業員 と共有している。								8	q								17
		・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。			・従業員への周知により、全員一丸で目標達成に向けて取り組んでいる。																	''
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	•		・コンプライアンスについての考え方を明確にした介護事業者としての倫理綱領に基づいて行動するよう、社内研修にて学習の時間を確保し、全ての従業員で共有している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	•		・経営理念や、公正な取引に対する代表の意思を常に発信している。 ・不正等無いよう、介護保険等重要項目については複数人での チェックを行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署な どの体制を整備している。	•		・管理責任者や生活担当員等各専門担当を任命し、社会・環境に及 ぼす影響を考え役割を明確にし、行動するよう取り組んでいる。																16	
組	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		・知的財産の重要性・必要性について社内会議の際に社員へ周知 し、知的財産の保護に取り組んでいる。 ・会議等により第三者の知的財産権を侵害していないか、お互いに チェックし合っている。								8. 2 8. 3	9							16	
織 · 公 正	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•		・施設サービス利用者様との契約時のマニュアル作成、毎年の雇用 契約等、様々な契約書内に情報漏洩防止に向けての管理方法を記入 している。 ・重要書類等は代表が管理しており、施錠が出来る箇所に保存して ある。																16	
な取引	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステーク ホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関 係者:消費者、投資家等及び社会全体)	•		・定期的な対話の機会を設け、説明活動などを積極的に行うことに よって、ステークホルダーと良い関係を構築している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サブライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		•						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP) を策定し、訓練や見直しを行っている。		•										9		11		13. 1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		•		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	•		・都度、社内聞き取り等を行い、人権侵害または差別、ハラスメントなどに迅速に対応できるよう取り組んでいる。				4. 3 4. 4 4. 5	5. 1 5. 2 5. 5			8. 5 8. 7 8. 8		10. 2 10. 3						16. 2	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取 り組んでいる。	•		・整理整頓・毎日の清掃活動などにより、社内の労働環境を整備 し、事故等を未然に防止している。			3					8. 8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応し ている。	•		・同一労働同一賃金に沿って、正社員・パート社員などで分けることなく、公平な待遇を行っている。					5. 5			8. 5		10. 2 10. 3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕 事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		・残業時間の管理をするとともに、家庭事情等に柔軟に対応することで、各自のライフスタイルに合わせた労働環境を整備している。			3		5. 5			8. 5 8. 8		10. 3							
労働	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		・各種資格等補助制度を設け、社内研修などにより自らの意識改革 を行えるように取り組んでいる。				4	5. 5			8	9								
· 人 権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の 向上等に取り組んでいる。	•		・休憩時間を有意義に過ごせるよう、社員休憩場所を設けしっかりとした休息ができる環境づくりができている。 ・年1~2回の健康診断、インフルエンザ予防接種等の経費補助も 行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活 躍できる環境の整備に取り組んでいる。	•		・性別、国籍、年齢を問わず、自分に合った勤務内容になるように 聞き取りなどをしっかり行い、差別的待遇は行っていない。				4. 4	5. 1 5. 5			8. 5		10. 2 10. 3						16. 7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		•				3					8	9. 1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により 業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•	・専門知識に特化した人物の協力のもと、介護保険請求、利用者情報管理等業務のデジタル化、タイムカードの電子化等による効率性向上に取り組み、常にビジネスモデルの変革を求め続けている。								8	9. 1		11	12					

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

												主なSDGs	ຣ (17のゴ	ールと169	9のターケ	・ット)						
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
					(次争未省が記載する傾)	1 555 Ř <del>vě Št</del> ř	2 ###	3 ##2888 -W+	4 ROBUME	5 \$10.55-1486	6 Retaries	7 = 2.25 = 2.25	8 ####	9 americas	10 400000	11 garbors All	12 346 AE	13 ANDERS	14 #08#### ###############################	15 #00 # # # # # # # # # # # # # # # # #	16 FRESE	17
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		•				3	4				8	9			12					
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでい る。	•		・汚染物などの取り扱いには十分な注意を払うよう指導しており、 手袋、エプロン等各種備品を完備。オムツについては、業者に週2 回処理依頼、その他再利用可能品以外についても適時回収依頼をし ている。			3. 9			6. 3					11. 6	12. 4		14. 1	15. 1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削 滅に取り組んでいる。	•		・節電などを積極的に呼び掛けたり、ガソリン等はルート確認などを行い、使用量削減に取り組んでいる。 【予定】2024年4月までに、簡易計算シートを用いてガソリン 使用量を把握していく。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んで いる。	•		・オール電化にすることにより、入浴・調理等の際ガスを使用しないようにして、化石燃料をなるべく使わないよう取り組んでいる。 【予定】2024年4月までに、簡易計算シートを用いてガス使用量を把握していく。		2. 4					7. 2 7. 3 7. a					12. 4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさない ように配慮している。	•		・職場周辺の植花、地域のごみ拾い活動等に積極的に参加し、生物 多様性の保全に取り組んでいる。						6. 6								14	15		
		【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リ デュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り 組んでいる。	•		・食品、紙媒体、プラスチックごみなどをなるべく出さないために 介護ICTを導入している。日々の献立に使用する食材の管理や、専用 ゴミ分別箱等設置により、効率的な資源利用に取り組んでいる。									9. 4			12. 2 12. 4 12. 5		14. 1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	•		・井戸水を利用したり、入浴時の節水シャワーヘッドの使用や、浴槽の残り湯を再利用して拭き掃除を行う等して節水に取り組んでいる。		2. 4				6. 1 6. 3 6. 4 6. 6 6. b					11.5			14. 1 14. 2 14. 3	15		17
T=	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる (グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	•		【予定】2024年4月頃にリユース・リデュース・リサイクル用の専用ゴミ箱の設置を予定している。									9. 4			12. 4 12. 5	13	14	15		
環境	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		•	・日々の摂食人数の確認、適量を提供するために調理師による管理 を行っている。	1	2				6. 4						12. 3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		•												11. 6 11. 7		13. 1 13. 3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生 可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•								7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4		11.5		13. 1 13. 3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取 組みを推進している。		•							6			9. 4		11. 3 11. 4 11. 5	12. 2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		•							6. 1 6. 3 6. 6					11. 3 11. 4 11. 5	12. 2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海 洋汚染の防止削減に貢献している。		•													12. 2 12. 5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動 車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		•										9. 4		11. 2		13. 1 13. 3				
	36	【2050年C02排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年C02排出実質ゼロを目指し、計画的にC02削減に取り組んでいる。		•		•						7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4		11. 6 11. a	12. 8	13				17. 17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

						主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
23.00	NO.	7-77-341	<b>2</b> -1-1	29	(※事業者が記載する欄)	1 sees	2 mm: (((	3 FATOLE  -W-	4 Rodinant	5 5225-788 \$80.43	6 RESTRICTS	7 #44-44450 - 144-000 - 144-000	8 #25/4 ####A	9 ##2:00#####	10 APROFFS	11 GARDONS	12 9(6#8 049#8	13 ANTENE	14 #08#EE	15 none-es	16 PRESE	17 // // // // // // // // // // // // //
	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	•		・サービス提供の際、様々な意見を交わし合い、質の向上に努め、 外部からの意見も取り込めるよう意見箱の設置をしたり、地域の有 識者の方々から運営推進員を選出するなどして、サービスの安全性 や品質を確保している。			3. 9						9			12. 4					
製	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供 や環境整備を行っている。	•		・施設はバリアフリー完備で、高齢者に優しい環境となっている。									9.1	10	11.7						17
品・サ	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		•	・地域の農産物集荷店にて食材の購入などを行っている。		2. 3 2. 4					7.3	8	9		11. a	12. 3	13	14	15		17
ー ビス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用 し、木質化を推進している。		•	・全館木造建築となっている。							7					12. 2	13. 1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組 んでいる。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するな ど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		•			2. 3 2. 4						8. 2	9. 2 9. 4		11. a	12. 2		14	15		17
	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	•		・当施設が、防災のための避難場所にも指定されており、地域の安 全活動に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽 減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対 策を進めている。	•		・ハザードマップの確認、避難訓練の定期実施を行うとともに、 日々の危険箇所などを従業員と共有することができている。				4							11.5		13. 1			16	
持続可	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助 救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に 参加している。		•		1.5		3	4						10. 2	11.5		13. 1			16	17
能 な 社	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		•										9		11	12	13. 1				
会 · 地	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGs の普及啓発や教育機会の提供を行っている。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施な ど、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		•	・南関第三小学校、南関中学校、有明高等学校等各学校の職場体験 などに積極的に協力し、職場説明会などにも参加している。				4				8. 6		10. 2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		•					4. 4				8. 5 8. 6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水 産業従事者の確保に取り組んでいる。		•			2		4. 3 4. 4 4. 5				8. 6		10. 2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。